

# 申 立 書

令和 年 月 日

和 光 市 長 宛

申請人 住所  
氏名 印

このたび、私が建築または取得しました下記家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、自己の住宅の用に供するものに相違ありません。

## 記

1 家屋の表示

所在地 和光市

家屋番号 \_\_\_\_\_

2 家屋の住居表示 \_\_\_\_\_

3 入居予定年月日 令和 年 月 日

4 現在の家屋の処分方法等（該当する記号に○をしてください）

ア 売却する。（売買契約（予約）書、売買媒介契約書の写し）

イ 賃貸する。（賃貸契約書（予約）書、賃貸借媒介契約書の写し）

ウ 借家、貸間、社宅、寄宿舍、寮等である。

（現在の賃貸借契約書、使用許可書、家主の証明書の写し）

エ 親族等が居住する。（親族等の申立書等）

オ その他（ \_\_\_\_\_ ）

5 入居が登記の後になる理由（該当する記号に○をしてください）

ア 資金調達上抵当権設定を急ぐため。

（金銭消費貸借契約書、代金支払い期日の記載のある売買契約書の写し。）

イ その他、やむを得ない事情により。

（それぞれの事情を明らかにする書類の写し。）

6 添付書類 4及び5の（ ）内の書類並びに現在の住民票

なお、証明書交付後この申立書に虚偽があることが判明した場合には、証明を取り消され、税額の追徴を受けても異議ありません